



かごしま有功会

<発行>
鹿児島市鴨池新町
1番5号
鹿児島県
赤十字有功会
(県支部事務局内)
☎099(252)0600



年頭のごあいさつ

鹿児島県赤十字有功会 会長 松前 邦昭

(株式会社鹿児島銀行 常務取締役)

新年明けましておめでとうございます。

有功会会員の皆様におかれましては、ますますご健勝でご活躍のことと心からお慶び申し上げますとともに、旧年中に賜りましたご支援、ご協力に対しまして厚くお礼申し上げます。

本会は、昭和49(1974)年6月27日に発会式を開催し、以降活動を続けて参りましたが、昨年でちょうど50周年を迎えることができました。これもひとえに会員の皆様のご支援の賜物であり、重ねて深くお礼申し上げます。

昨年、国内では、令和6年1月1日に発生した能登半島地震を始め、台風、豪雨等の自然災害により各地で甚大な被害が発生しました。日本赤十字社では、被災地の県支部を中心に全国の支部等が連携し、救援物資の配付や避難所支援などの救援活動を行っています。

また、海外でもウクライナやイスラエル・ガザにおける人道危機に加え、4月3日に発生した台湾東部沖地震など大規模自然災害が発生し、日本赤十字社では、国際赤十字や各国赤十字社等と連携して物資支援や避難者への生活・医療支援等を行っています。

国内外において災害や紛争等が増加する中で、私ども鹿児島県赤十字有功会としましても、赤十字の支援団体として、人道と博愛の精神に基づいて、「救うことを、つづける」赤十字活動に対し、共に活動を行っているという思いを強く抱き、引き続き会務の推進に取り組んで参りたいと存じます。今後とも、会員の皆様方の温かいお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

今年一年が皆様にとって明るく健やかな年となりますよう心からお祈り申し上げ、年頭のごあいさつとさせていただきます。



石川県七尾市の避難所での日赤救護班の活動
(令和6年能登半島地震災害)



物資を運搬する様子(道の駅輪島)

令和6年度有功会総会結果について

令和6年7月24日(水)に鹿児島サンロイヤルホテルにおいて、鹿児島県赤十字有功会総会を開催しました。松前会長による会長あいさつの後、来賓として出席した日本赤十字社鹿児島県支部参与(竹村直子鹿児島県保健福祉部次長)から祝辞をいただきました。

協議事項については、有功会50周年記念事業の実施を含むすべての議題について、全会一致で承認されました。

記念講演では、九州経済研究所 福留一郎先生をお迎えして、「最近の経済動向～災害・寄付行動を交えて」と題した大変貴重なお話をいただきました。



有功会総会での様子

役員体制

現在の役員体制は以下のとおりです。
なお、任期は令和8年8月30日までとなります。

任期：令和5年8月31日～令和8年8月30日

- (会 長) 松前 邦昭(法人選出)
- (副会長) 川畑 俊彦(法人選出)
- (副会長) 弓場 秋信(鹿児島選出)

- (理 事) 弓場 秋信(副会長)
- (理 事) 坂上 省悟(鹿児島選出)
- (理 事) 藤岡 義道(南薩選出)
- (理 事) 宇都 忠良(北薩選出)
- (理 事) 湯川 久子(始良伊佐選出)
- (理 事) 中村 隆重(大隅選出)
- (理 事) 福永 健一(奄美熊毛選出)
- (理 事) 松前 邦昭(会長)
- (理 事) 諏訪 秀治(法人選出)
- (理 事) 川畑 俊彦(副会長)
- (理 事) 青木英一郎(法人選出)
- (理 事) 有馬 正治(法人選出)
- (理 事) 鎌田 善政(法人選出)
- (理 事) 寶來 豊晴(法人選出)
- (理 事) 福田 和志(法人選出)
- (監 事) 中山 忠順
- (監 事) 原田 明

(敬称略)

鹿児島県赤十字有功会のあゆみ



● 有功会発足まで

昭和46年11月1日、東龍太郎日本赤十字社社長を迎えて鹿児島市のホテル鶴鳴館で初めての「支部協議員と有功社員のつどい」が開かれ、金丸三郎県支部長をはじめ協議員30人、有功社員40人、評議員14人と支部関係者合わせて100人がこのつどいに参加。東社長が「赤十字の現状について」と題して約1時間の講演を行い、その後参加者が懇談した。

昭和47年に2回目、昭和48年に3回目のつどいが開催され、鹿児島県赤十字有功会結成への機運が高まっていった。

● 鹿児島県赤十字有功会発会

昭和49年6月27日、小池欣一日本赤十字社副社長を迎え、鹿児島市のサンロイヤルホテルで鹿児島県赤十字有功会の発会式を開催。会員の目標を500人に置いて「奉仕・親善・仲間づくり」をスローガンに掲げ、会員相互の親睦を図るとともに、赤十字の有力な支援団体となり、赤十字精神の普及や社員の増強に努めることを決議してスタートした。

● 発足後の足どり

昭和59年総会で、従前の参与・顧問制度を廃止し、理事・監事制を導入。

発会時の有功社員数は142人だったが、会員による仲間づくり運動の甲斐もあり、平成15年に最大の429人となった。その後徐々に減少し、令和6年4月1日現在は298人。

毎年、社員募集、有功会員増強、日赤県支部の各種事業の支援協力を推進している。

赤十字事業への支援活動

本年の赤十字事業への支援活動として、鹿児島赤十字病院に患者様搬送に使用するムーブボードを1台寄贈しました。

また、小・中学生を対象とした「リーダーシップ・トレーニング・センター」(通称トレセン)参加者にクリアファイルなど文房具の記念品を寄贈しました。

この他、鹿児島県赤十字有功会創立50周年記念事業による追加支援として、特別養護老人ホーム錦江園に車椅子を1台、青少年赤十字指導者協議会へ、ロールアップバナーを1セット寄贈しました。



赤十字病院に寄贈のムーブボード



錦江園へ寄贈の車椅子



寄贈した記念品



ロールアップバナー使用の様子



トレセンでの様子

ご紹介ください!! ~有功会仲間づくり運動~

〈有功会入会について〉

有功会の入会資格となる有功章の受章は、銀色有功章が会費(活動資金・寄付金)の金額20万円以上、金色有功章が50万円以上の金額(いずれも一時または分割して)に達した方となっております。

なお、日本赤十字社への会費(活動資金・寄付金)に対しては、税制上の優遇措置があります。

〈参考〉

国の表彰

- 厚生労働大臣感謝状(個人)一時または累計で100万円以上500万円未満(同一年内)
- (法人)一時または累計で300万円以上1,000万円未満(同一年内)
- 紺綬褒章(個人)一時または累計で500万円以上(3年以内)※
- (法人)一時または累計で1,000万円以上(3年以内)※

※平成29年度以降、初回寄付時に褒章希望と伝えることで、分納期限の制限なく授与申請を行えるようになりました。



令和6年能登半島地震における鹿児島県支部の主な活動について

令和6年1月1日16時10分に石川県能登地方を震源とするマグニチュード7.6、最大震度7の地震により、石川県を中心に甚大な被害が発生しました。

日本赤十字社では発災翌日から医療救護班を派遣するなど、全国の支部等が協力して被災者の支援活動を実施しました。

鹿児島県支部では、発災直後から情報収集を開始し、1月4日に「令和6年能登半島地震災害義援金」の募集を開始しました。また、九州各県支部と連絡・調整して石川県七尾市へ医療救護班を2班派遣し、また、珠洲市へ医療救護班の活動調整を行う日赤災害医療コーディネーターチームを派遣しました。

日頃からの皆様の赤十字活動資金へのご協力により、このような活動を行うことができました。

引き続き、赤十字の事業をご支援くださいますようお願い申し上げます。



七尾市に出発する救護員（鹿児島県支部）



巡回診療を行う救護員（鹿児島県支部）

令和7年度九州八県赤十字大会は鹿児島県での開催です

九州八県赤十字大会は、赤十字思想の普及と会員の増強を図り、社業の一層の進展を期することを目的に、毎年九州八県の持ち回りで開催しております。

令和6年度は福岡県で開催されましたが、令和7年度は11月に鹿児島県での開催を予定しており、平成27年度以来10年ぶりの開催となります。

式典では、金色・銀色有功章の授与並びに社長感謝状の贈呈を行い、その後アトラクションをご覧ください。

有功会会員の皆様へも、大会参加のご案内をいたしますので、多くの方々のご参加をお願いいたします。



平成27年度九州八県赤十字大会（前回鹿児島県大会）の様子
（鹿児島市民文化ホール）